

## 就業力育成支援事業 近畿地域会議アンケート集計

2011.6.8開催

選定校2校による取組状況報告について、ご参考になりましたか。

| 参考になった | ある程度参考になった | あまり参考にならなかった | 参考にならなかった | 未回答 | 合計 |
|--------|------------|--------------|-----------|-----|----|
| 28     | 20         | 1            | 0         | 1   | 50 |
| 56%    | 40%        | 2%           | 0%        | 2%  |    |

分科会での参加選定校による取組状況報告について、ご参考になりましたか。

| 参考になった | ある程度参考になった | あまり参考にならなかった | 参考にならなかった | 未回答 | 合計 |
|--------|------------|--------------|-----------|-----|----|
| 26     | 20         | 3            | 1         | 0   | 50 |
| 52%    | 40%        | 6%           | 2%        | 0%  |    |

分科会でのグループ討議について、ご参考になりましたか。

| 参考になった | ある程度参考になった | あまり参考にならなかった | 全く参考にならなかった | 未回答 | 合計 |
|--------|------------|--------------|-------------|-----|----|
| 31     | 19         | 0            | 0           | 0   | 50 |
| 62%    | 38%        | 0%           | 0%          | 0%  |    |

「近畿地域会議」の次回開催について、年明け以降での開催を検討しています。現時点でのご意見、ご意向をお聞かせください。

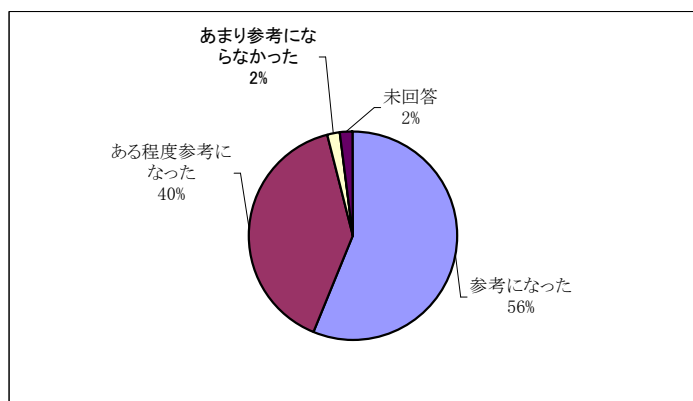
| 同じ主旨での開催を希望する | 異なる趣旨での開催を希望する | 特に開催を希望しない | 未回答 | 合計 |
|---------------|----------------|------------|-----|----|
| 33            | 10             | 0          | 7   | 50 |
| 66%           | 20%            | 0%         | 14% |    |

# 就業力育成支援事業 近畿地域会議

2011年6月8日実施  
回答者数50名

- ・選定校2校による取組状況報告について、ご参考になりましたか。

| 参考になった | ある程度参考になった | あまり参考にならなかった | 参考にならなかった | 未回答 | 合計 |
|--------|------------|--------------|-----------|-----|----|
| 28     | 20         | 1            | 0         | 1   | 50 |

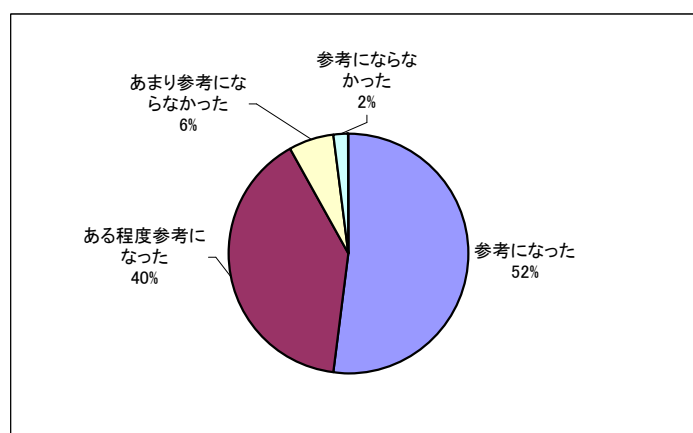


- ・各大学の一定の動きが見えた。
- ・京産大の報告は大変参考になった。
- ・京都産業大の取組がモデルとなる。
- ・京産大さんのインターンシップへの取り組み。
- ・事業推進にはどことも苦労しながら切り開いていること。
- ・実践的な事例を数多く聞くことができました。
- ・もう少し時間が欲しかった。大学全体のご説明は最低限におさえ、GPの取組について、詳しく聞きたかった。
- ・先進的な事例も聞け、参考となりました。
- ・具体的な実施例を示して頂けましたので、参考になりました。
- ・女子大の取り組みについて特に参考になりました。
- ・両校とも意欲的に取り組んでおられ、本学の取組改善に大変参考になりました。
- ・組織的運営体制がしっかりしている。執行部のサポートが強力であることが解りました。
- ・同様の課題を持っている学校もあり、共感できました。
- ・素晴らしい取組で大いに参考にさせていただきます。
- ・パワーポイントの製本の参考になった。
- ・奈良女は参考になりませんでした。京産さんは大変参考になりました。
- ・京産大の問題のお話は、共通点があり参考になった。
- ・報告は参考になったが、取組規模が異なるため、そのまま導入はできない。

- 京都産業大学さんの、スタッフを育成する取組が参考になった。
- 取組の課題は実施内容の違いはあっても共通する部分があると感じました。
- 奈良女子大は規模が本学と近いので、取り組んでいく方向は同じだと感じた。京都産業大は組織がうまくできているようだ。参考にしたい。
- 取組姿勢が伝わってきた。
- 4年制大学の取組状況報告のため、短大への適用が難しい部分があった。
- 具体的な取組の内容が理解できた点。

- ・分科会での参加選定校による取組状況報告について、ご参考になりましたか。

| 参考になった | ある程度参考になった | あまり参考にならなかった | 参考にならなかった | 未回答 | 合計 |
|--------|------------|--------------|-----------|-----|----|
| 26     | 20         | 3            | 1         | 0   | 50 |

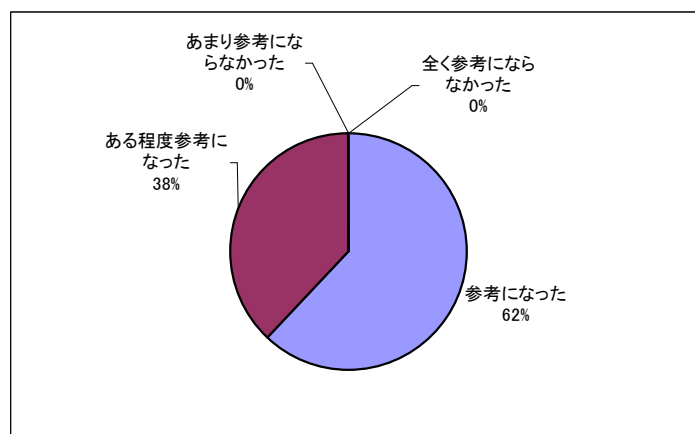


- ・各大学が抱える課題に対しどのように取り組んでいるか情報共有できたことで非常に参考になった。
- ・時間が短かった為(各大学の内容が豊富であったため聞ききれなかった。)
- ・総じて私大の方が熱心に取り組んでおり、参考になった。
- ・5分間の発表用の資料としてどう準備するのかの問題があるように思う。
- ・総じて他の大学の状況が把握できました。
- ・キャリアポートフォリオについて、閲覧権限を含めた、運用方法の良否が成果を得るものになる。
- ・具体的なお話が聞けました。
- ・発表時間が短かったため、できれば事前に各大学の提出物に目を通せるようにしていただきたいかった。
- ・本学と同規模の大学の取組状況は非常に参考になりました。規模が違いすぎますとなかなか実行できない事例も多くありますので。
- ・大学によって様々な取り組みがあるということと、苦心していらっしゃる様子が伺えたので。
- ・それぞれ共通する内容や共有できる問題があることを知ることができました。
- ・評価ツールについての現状が解った。全教員を巻き込んでゆく仕組みが課題であることが解りました。
- ・同様の課題を持っている学校もあり、共感できました。
- ・発表時間が短かったことと、発表項目の指摘がなかったので、少し消化不良感があつた。
- ・時間の関係で1大学5分の説明時間となったが、もう少し詳しくお聞きしたかった。リーフレット等があれば配布願いたかった。
- ・本学とは、前提条件が違いすぎました。
- ・時間が短く、分かりづらかった。

- 本学取組で課題となっている内容についての報告もあり、参考になった。
- とてもよく考えられたプログラムばかりでした。
- 摂南大学様の時・日を限定した取組が対学生のみならず学内の意識を統一する意味でも非常に参考になりました。
- 他大学の取組を知る機会が少なかったので参考になりました。今回の取組状況報告で興味を持った取組は連絡を取り合いたい。
- 5分のプレゼンでは限界があるかなと。
- 様々な取り組みをされており本学に活かせるかと思いながら聞いていた。ただ短大の話があればもっと身近に感じたと思う。
- 1校5分の説明で、十分な理解ができない部分があったが、参考になることが多かった。短大からの報告が欲しかった。
- 取組担当者の皆さんの様子がわかった点。

- ・分科会でのグループ討議について、ご参考になりましたか。

| 参考になった | ある程度参考になった | あまり参考にならなかった | 全く参考にならなかった | 未回答 | 合計 |
|--------|------------|--------------|-------------|-----|----|
| 31     | 19         | 0            | 0           | 0   | 50 |



- ・キャリア教育を実際に行っている方々からお話をお聞きすることができ、今後の取り組みに活かしていきたい。
- ・取組に温度差を感じた。参考にならぬことです。
- ・評価測定についての論議を希望。
- ・総じて他の大学の状況が把握できました。
- ・事業推進にはキーマンが必要であること。教員の負担軽減がカギであること。
- ・具体的な内容が詳しく伺え、とても参考になった。討議時間は決して長かったわけではないが、司会の方のマネジメントの素晴らしさで意義のあるディスカッションとなった。
- ・各大学の良い点、悪い点の双方が情報共有できたと思います。
- ・本当の課題について取り上げて下さいましたので、今後の学内での論議に向けてのヒントになる機会でした。
- ・事前に提出した課題に関連して、参考意見も含めて拝聴できました。
- ・時間が足りなかったのが残念でしたが、各大学の本音が聞けたのがよかったと思います。
- ・学生参画について参考になった。
- ・学内広報の事例、e-ラーニングの事例は非常に参考となりました。
- ・学内協力体制の難しさ(共通の悩み)
- ・他大学の取り組みが良くわかった。
- ・個別の授業手法など、具体的な点が聞けて参考になった。もう少し組織的な導入方法についての議論ができていればいいと思った。
- ・アセスメントに関して情報収集ができた。
- ・各校とも同じ問題をかかえられているということで非常に参考になった。

- 自大学の実行上取り入れる点があり、参考になった。
- 大阪成蹊大学様の学生参加の促進に対する取組としてSNSにアバターを取り入れられる等の工夫をされているお話は非常に興味深かったです。
- eポートフォリオに関する課題が明確になった。
- 失敗事例や苦勞しているところを共有することができました。
- 上の課題がここでクリアになった。ある程度事業が進んできたら、同じ問題を共有することができるだろうから、テーマごとの討議は有効だ。
- 問題が整理されていて、それに対する意見、質問であったため参考になった。
- 本学も直面している課題について、具体的な解決策をお聞きできました。
- 取組担当者の皆さんの努力がわかった点。

- ・分科会で取り上げて欲しかったテーマがございましたら、自由にご記入ください。
- ・総花的でなく論点を絞って。①評価(アセスメントツール・就業力全体の評価)②教職協働③学生の意欲向上策
- ・成果の測定方法についてもっと詳しく(測ることは目的ではないので、教職員に負担の少ないやり方を模索したい)
- ・文科省の「学士力」と経産省の「社会人基礎力」の関係はどうなっているのか。
- ・十分な内容でした。
- ・卒業生について、まだまだOB・OG会を通じて、把握しきれていない人たちを何とかほぼ全員把握したいと思っています。その方策について議論できればと思います。
- ・教育評価方法について。
- ・効果検証について。
- ・今回のテーマをもう少し深めていきたくかったです。
- ・①人材確保②ファシリテーターとしての教員能力UP③教員のキャリア教育能力のレベリング
- ・大学間協業。
- ・PBLの成功例、そして失敗例。
- ・ポートフォリオの事例。
- ・就業力の低下の原因と今後どうなっていくのか、各大学の認識をお聞きしたかった。
- ・ポートフォリオのカスタマイズ。
- ・発達障害学生に対する就業支援。
- ・発達障害の疑いのある学生への支援について知りたい。キャリアセンターだけで取り組める問題ではないと感じています。
- ・専門教育と就業力とのリンク(とりわけ人文系の学部・学科において)・事業評価
- ・学生参加の促進案・大学が職業訓練校化してしまう危惧がないか、その回避策・就業力育成事業の成果を(教)職員の評価の1つとされている事例があれば教えてほしい。
- ・学生の視点からの問題点を上げる面もあってもいいのでは？
- ・企業との連携。



・本日のプログラム全体を通して、今後の事業推進や課題解決に向けて参考になった点等がございましたら、自由にご記入ください。

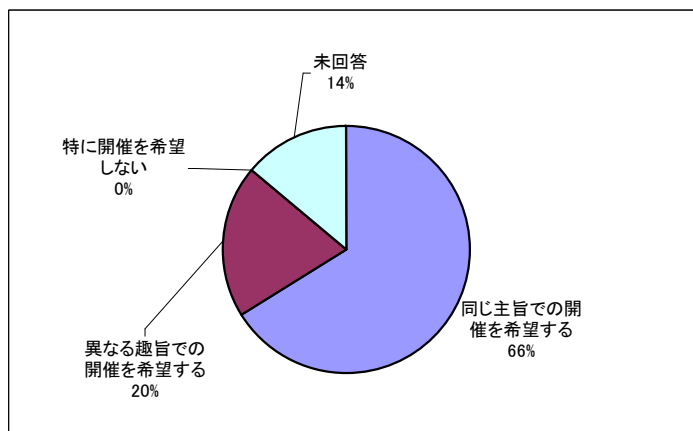
- ・本事業が動いている。大学に持ち帰り意欲的にやらねばと意欲向上につながった。次回は分科会に分けず全体で進めればという希望はあるが現実的にはこのスケジュールであろう。
- ・学生参加の促進、卒業生との連携について。
- ・改めて本事業の主旨、キャリア支援ではなく、大学の学生への社会的職業的自立を目指す教育であることを、評価委員の方より聞かせて頂き、本学でも誤解されている教員への説明事項になります。
- ・しっかりとした運営に敬意を表します。また、関西外大様の事業実施の成果測定を実施されようとしていることに関心を持ちました。
- ・プログラムの評価の方法・学内の組織化の方法
- ・コンピテンシーアセスメントについての情報が大変参考になりました。ポートフォリオの利用の仕方についての具体的な事例がもっと知りたい。
- ・自己評価にかかるアセスメントの種類と活用方法(特に関西外大の事例)
- ・学生参加のためのアイデア・実施成果の測定について、アセスメントの使用方法
- ・ポートフォリオの失敗例について。
- ・共通の課題を持つ大学や取組で横の連携をはかっていけるのではないかと思います。
- ・討議時間が短い。1日コースにする必要があります。情報共有化するためには意見交換が大切であるが、時間は十分ではない。
- ・本学で選定しているプロジェクトの達成目標(指標)を今一度検討する必要があるのではないか(就業率向上ではない)計数的な妥当な指標を要検討。
- ・本学の実践教育との取り組みと他大学のキャリア形式支援事業とは事業内容が違っており、課題解決の参考になる事例はなかった。
- ・取組み状況を総覧できた点はとても参考になりました。
- ・各校の取組における特徴的な部分はとても参考になり、かつ刺激になった。
- ・他大学に負けない良い取組にしていきたいと思いました・ポートフォリオの活用方法についてヒントを得ることができました
- ・学生の参加促進や学内協力体制について参考になった。
- ・評価の仕組みについて・学生へのモチベーションアップの図り方について
- ・日本の今後を考える場合、全体とともに底上げを考える必要があると思う。
- ・就業力、社会人基礎力育成の底上げ、全体レベルの向上に向けて、短大の活性化が必要と思った。
- ・経済産業省の報告を聞く機会が得られたこと。
- ・ポートフォリオの運用。

- ・ 本日のプログラム全体を通してご意見、ご感想がございましたら、自由にご記入ください。
  - ・ 大学での取組状況を聞くことができて大変参考になりました。引き続きよろしくお願いします。
  - ・ このような機会を設定頂き、ありがとうございました。大変参考になりました。
  - ・ このような集まりを開催していただき、ありがとうございました。
  - ・ 分科会は10校まで位で小規模で。最初の各校紹介の時間だけで長くなっていた。小規模グループで時間を分けてメンバーを連れて行く。取組内容は見て分かりやすいよう記入してもらう工夫を促してはどうか。
  - ・ やはり時間が足りないように思いました。
  - ・ 今後も継続的に情報共有をしたいと心から思いました。
  - ・ ありがとうございました。会議の準備運営ご苦労様でした。大変参考になりました。
  - ・ 評価指標に関する研究成果etcが出せるようになればと思いました。
  - ・ 本学が抱える課題について、文部科学省様、委員の先生方、他大学様からの意見、ご示唆により再確認でき、貴重な機会となりました。ありがとうございました。
  - ・ 情報交換ができ、また人脈の開拓にもつながり助かりました。
  - ・ もっと多くのスタッフや教員に本日のような会に参加して欲しいと思いました。
  - ・ 年2～3回の開催が必要でしょうか。FD・SDとの連携が必要でしょう。
  - ・ この会議の運営費用も就業力の補助対象経費となるのでしょうか？日々、どこまでが認められる経費かとまどいながら事務をしています。
  - ・ 個別にご相談、お願いいたしたく参加された方々のMAILad教えてもらえれば幸いです。
  - ・ 他分科会の大いに参考にしたい事例・大学がありました。参加校数が多いため、仕方がないとは思いますが、工夫をお願いします。
  - ・ 他大学の取組を知ることができたのは有意義であったが主旨は？
  - ・ 今後も実施していただきたい。ありがとうございました。
  - ・ 会に参加でき、情報共有できて良かった。
  - ・ 可能であれば分科会をもう少し小さいグループにして深い情報交換をしたい。また、各校の課題に対するFAQの様なまとめがいただけるとうれしい。
  - ・ 各校がかかえている問題や、取組をお聞かせ頂くことができ、有意義であった。
  - ・ 多くの大学が抱える課題が共通していた。情報共有を図り、課題解決に向け、全大学で取り組んでいければ…との思いがめばえた。
  - ・ 共通の課題を共有・再認識できた。有意義でした。
  - ・ もう少し討議の時間があればよかったと感じました。グループ討議はテーマ別で分かれて実施してもいいと思いました。
  - ・ 貴重な情報交換の機会となりました。ありがとうございました。
  - ・ 事務局、おつかれ様でした。お世話になりました。
  - ・ 底上げにスポットを当てた会議も企画して欲しい。

- 短大の状況がもう少し分かるようにお願いしたい。
- 最後の荻上先生へのお話、感銘を受けました。決して数字では測れない就業力を(就職力ではなく)育てられる様、今後努力したいと思います。
- 大学の規模・サイズの違いに応じて、課題を考える分科会があっても良かったのではないかと思います。
- 今後、意見交換していただく関係を築くチャンスになります。お世話になりました。
- 非常に勉強になりました。本学のプログラムに生かして参りたいと思います。

- ・「近畿地域会議」の次回開催について、年明け以降での開催を検討しています。現時点でのご意見、ご意向をお聞かせください。

| 同じ主旨での開催を希望する | 異なる趣旨での開催を希望する | 特に開催を希望しない | 未回答 | 合計 |
|---------------|----------------|------------|-----|----|
| 33            | 10             | 0          | 7   | 50 |



## ■ 1・2を選択された方…参加し易い時期・曜日・時間帯

- ・～3月は業務多忙により厳しい。
- ・10～11月頃
- ・10月頃
- ・11月頃
- ・11月頃
- ・1月下旬頃/水曜日/13:00～17:00
- ・1月頃
- ・1月頃/土曜日/13:00～16:00
- ・1月頃/木曜日/9:30～12:00
- ・2月下旬頃
- ・2月下旬頃/水曜日以外
- ・2月頃
- ・2月頃
- ・2月頃
- ・2月頃/午後
- ・2月末頃
- ・3月頃
- ・3月頃(授業のない期間が参加し易い)

- ・ 3月頃/金曜日/13:00～17:00
- ・ 3月頃/土曜日/13:00～17:00
- ・ 8～9月頃(夏休み中)
- ・ 8月頃
- ・ 土曜日

■ 2を選択された方…希望される主旨の内容を教えてください。

- ・ 分科会の分け方を、似たような学部(or進路) or似たような取り組みごとにもっと少人数で編成すると、より深い議論ができるかもしれない。
- ・ 進捗状況について
- ・ もう少し少人数で意見交換できればなお良いかもしれません。
- ・ H23年度の振り返り、H24年度調書提出に備えて、事業進捗、課題等を確認するため。
- ・ 今回は初回でしたので、この形式で良かったと思います。次回からは具体的な議論を行いたい。課題別分科会の設定で議論できればと思う。
- ・ 教(職)員の意識を高める工夫、情報共有の工夫。既に実践されている就業力育成の取り組み。(ただし個の教員レベルで)
- ・ テーマを絞っての討議。
- ・ 執行に関する勉強会。
- ・ 文部科学省に提出する書類の書き方(文科省を求める表現方法等)又、e-ポートフォリオの内容を知りたい。
- ・ ・1開催で数校で良いので、詳しい報告をお聞きたい・近畿以外の大学の取り組みもお聞きたい
- ・ 全国のGood Practiceの事例報告や、文科省の統計的まとめなどをお聞かせ下さい。
- ・ 分科会をWGのような形式で、問題解決が出来るようなものであると良い。
- ・ 必ずしも1ではなく、更なる進捗の中での課題共有、事例交換ができるとよいと思います。
- ・ 企業、特に中小企業が大学・短大に期待することをテーマに入れてほしい。選定大学の事例を一般へアピールすることなど。
- ・ 実施成果の方法(共通化＝大学間と特殊化＝実態別の可能性と方法)